

The 13th NTCIR (NTCIR-13)

Testbeds and Community for Information access Research

NTCIR-13 タスク参加募集

参加登録は NTCIR-13 ウェブサイトからお願いいたします : <http://research.nii.ac.jp/ntcir/ntcir-13/>

情報アクセス技術向上のための協同的な取り組みに参加してみませんか？

情報検索や自然言語処理、データベースなどの技術の中核とする情報アクセス技術の開発は、ウェブへのアクセスやテキストデータ、様々なセンサーデータから得られるビッグデータの利活用のために、その重要性を増しつつあります。情報アクセス技術の評価には、研究者の協同作業の結果として作成される「テストコレクション」に基づく評価が欠かせません。NTCIRは、数多くの研究者の協力の下で、その評価基盤の形成に過去15年以上に渡って取り組み、技術の発展に貢献してきました。その評価タスクはのべ70を超え、タスクへの総参加グループ数は、国内・海外併せて880以上にのぼります。さらに、現在、3,700以上の研究グループがNTCIRテストコレクションを研究目的で利用しています。NTCIRでは、日々開発される新しい技術に対する評価手法を模索しつつ、活動を進めております。

第13回目のNTCIR、NTCIR-13では共通のデータセットを用いて研究するタスクへの参加チームを募集中です。情報アクセス分野の学生や若手研究者のみならず、先生方、企業で研究をなさっている方、または情報学に興味のある方々、大規模なテストコレクションを用いた検索、質問応答、自然言語処理に関心のある研究グループは、どなたでも歓迎します。どうぞ、奮ってご参加ください。

NTCIR-13 タスク

Lifelog-2	多様なデバイスを用いて蓄積したマルチモダリティログデータの検索と要約 http://ntcir-lifelog.computing.dcu.ie/
MedWeb	Twitterの発言テキストと闘病記ブログに対する病名ラベリングおよび病名抽出 http://mednlp.jp/medweb/NTCIR-13/
OpenLiveQ	Yahoo!知恵袋の実サービス環境にて評価が行われる質問検索タスク http://www.openliveq.net/
QALab-3	実世界質問応答。対象は論述問題を含む大学入試(世界史) http://research.nii.ac.jp/qalab/
STC-2	ユーザの発言に対し、システムは適切な応答を検索できるか？生成できるか？ http://ntcirstc.noahlab.com.hk/STC2/stc-cn.htm http://ntcirstc.noahlab.com.hk/STC2/stc-jp.htm
AKG	行動的な検索意図のためのナレッジグラフ生成 http://ntcirakg.github.io/index.html
ECA	ニュース文書から感情およびその原因を抽出 http://hlt.hitsz.edu.cn/ECA.html
NAILS	脳波を用いた画像内容のラベル付け http://ntcir-nails.computing.dcu.ie/
WWW	還ってきたウェブ検索タスク - 少なくとも3回のNTCIRに渡る評価を行い、技術進歩を定量化します http://www.thuir.cn/ntcirwww

NTCIR-13 重要な日程

2016年12月15日:	タスク参加登録 締切*	2017年9月1日:	評価結果の返送
2017年1月:	データセット配布開始*	2017年10月1日:	参加者論文(ドラフト)提出締切
2017年1-3月:	予備テスト(Dry Run)*	2017年11月1日:	参加者論文提出最終締切
2017年3-7月:	本テスト(Formal Run)*	2017年12月5-8日:	NTCIR-13 Conf. & EVIA 2017

*の日程はタスクによって異なる場合がございます。各タスクのホームページ等にてご確認くださいませようお願いします。

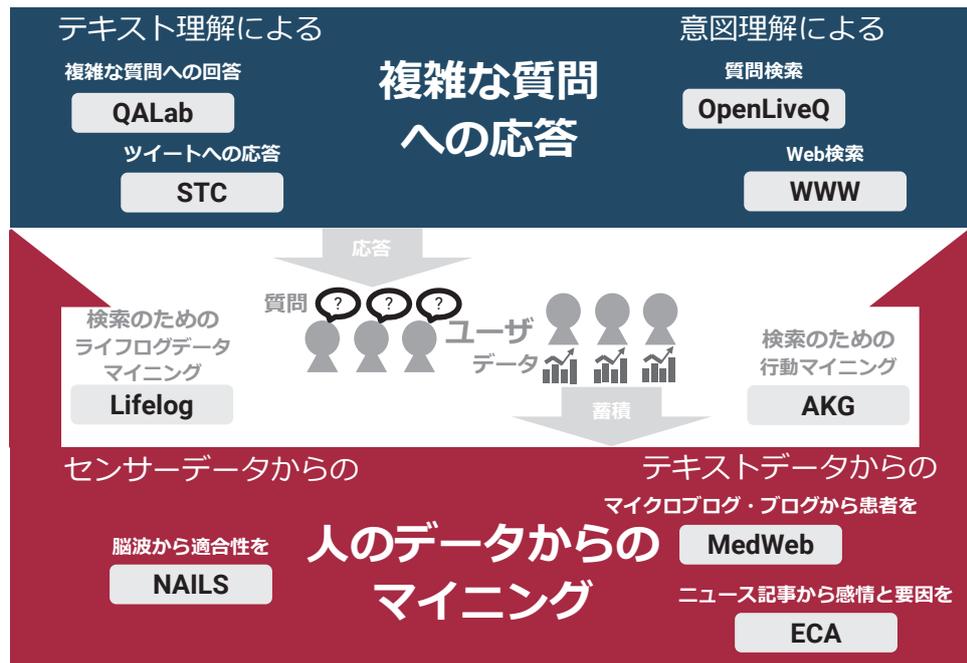
NTCIR-13 Program Committee Co-Chairs: 加藤 誠, Yiqun Liu
NTCIR-13 General Co-Chairs: Charles L. A. Clarke, 神門 典子, 酒井 哲也

お問い合わせ (NTCIR 事務局) : ntc-secretariat@nii.ac.jp

NTCIR-13 の目的

NTCIR-13では情報アクセス技術に関する以下の3つのトピックに重点を置いています:

1. テキストとユーザ意図の深い理解を通じた複雑な質問やクエリへの回答
2. 大量の「人」に関わるデータからの知識マイニング
3. ビッグデータから抽出された知識の知的な情報アクセス技術への応用



The 12th NTCIR Conference & EVIA 2016

<http://research.nii.ac.jp/ntcir/ntcir-13/>



- ・ 9 タスク
- ・ 47 タスクオーガナイザ
- ・ 91 研究グループ
- ・ 21 国/地域
- ・ 236 参加者